



3

2013 MARCH

あなたと町を結ぶ広報

なみえ

平成25年3月 No.566

毎月1回1日発行

- ② 町民の皆さまへ
- ④ みんなでともに乗り越えよう
- ⑩ みんなの図書館・集まっ会
- ⑪ 学校だより
- ⑫ 情報ぴっくあっぷ
- ⑬ まちの話題
- ⑰ 浪江のこころ通信
- ⑳ 連絡先一覧・空間放射線量測定結果

今月の表紙

鎮魂と復興願い 安波祭 (2月17日 笹谷東部仮設住宅)



震災から2年

浪江町長 馬場 有

時は弥生。大震災・原発事故から2年経ちます。この間、町民の皆さまにはそれぞれ、さまざまな苦悩、怒り、不安の日々の連続であったと思います。すべての町民が国内避難民として位置づけられ、虐げられた生活を送っていることの無念さを思うと痛恨の極みであります。

緊急避難期にあたって、役場が果たさなければならぬことは何かを考え、私は喫緊の対応策として、震災後間もなく「暗中八策」を提案し、町民の負託にこたえるべき施策を日夜展開してまいりましたが、町民の多様なニーズにタイムリーに応えることができなく、ご迷惑をおかけしております。

「明けない夜はない」ことを信じて、職員・NPO・諸関係機関のボランティアと一体となり、この対応期を乗り切り、ようやく「暗中八策」を基本に、昨年の10月、浪江町復興計画【第一次】が策定され、本年からこの個別計画を作成し、実施する段階に入りました。
浪江町内に復興拠点を置き、本年より上下水道・町道などの計画など、社会基盤の復旧整備

に着手します。町外コミュニティを県内に設置し、住環境の整備に着手、避難指示解除見込みまでの新たなコミュニティ創造を目指します。同時に、町内のコミュニティの環境整備の行程表を作成します。生活再建・支援のために、東電に対しては賠償の迅速化ならびに財物賠償をもの確に加害者としての責務を果たさせます。

また、居住制限区域・避難指示解除準備区域の面的除染が始まりますが、引き続き帰還困難区域は、実証実験の部分除染を行います。
県外に避難している町民のためには、「絆」の維持を図るため、新たに埼玉県・新潟県・京都府に復興支援員を配置し、交流機会を増大させます。

「ここに住んでも浪江町民」であります。行政として、町民の皆さまに寄り添って将来の展望を拓いてまいりますので、よろしくご指導をお願いします。
花冷えの季節です。くれぐれもお体をご自愛されることを祈念します。

平成24年3月～平成25年3月

平成24年

- 3月1日 町での食品の放射性物質測定開始
- 11日 浪江町東日本大震災追悼式
なみえ3.11復興のつどい
- 3月末 除染のモデル実証事業終了
- 4月19日 浪江町復興ビジョン策定
- 26日 全町民対象の内部被ばく検査（ホールボディカウンター）を開始
- 5月29日 4回目の一時的立入り開始（7月14日まで）
- 6月 公的施設の先行除染開始
全世帯に放射線測定器を配布
第2回復興に関する町民アンケートを実施
- 7月1日 「放射線健康管理手帳」を発行（全町民に配布）
- 23日 町独自の子どもの甲状腺検査を開始
- 27日～ 夏休み子ども親子交流事業を各小・中学校ごとに実施
- 8月3日 浪江町仮設図書館「浪江in福島ライブラリーきぼう」開所（福島市笹谷）
- 25日 5回目の一時的立入り開始（10月13日まで）
- 10月1日 役場機能を仮設庁舎に移転
- 12日 浪江町復興計画【第一次】策定
- 22日 浪江町住民説明会開催（11月18日まで全14会場）
- 11月3日 6回目の一時的立入り開始（12月14日まで）
- 21日 浪江町除染計画の公表
- 12月 19歳以上40歳以下の町民の甲状腺検査開始
下水道管被害調査開始
津波被災地の集団移転に関するアンケートの実施
区域再編に伴う住民説明会の開催

平成25年

- 1月 住民意向調査の実施
子どもの初期被ばく検査開始
- 25日 避難指示区域の見直しと避難指示解除見込み時期の最終的な町の方針を国に通知
- 2月14日 7回目の一時的立入り開始（3月24日まで）
- 3月1日 届出避難場所証明書の発行開始

なみえ3.11復興のつどい

とき 3月16日(土) 10時～16時

ところ 二本松市 安達文化ホール、安達公民館 ほか

震災を忘れず、ふるさと浪江町を感じることでできるイベントとして、浪江町の仮設住宅や借り上げ住宅自治会を中心とした実行委員会が町民の皆さんをお迎えします。全国の浪江町の皆さん、この機会に集まってふるさとを感じてください。

実行委員長 佐藤 秀三

☎ なみえ3.11復興のつどい実行委員会事務局
☎ 0243-62-0305

みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、警戒区域の見直し、インフラの復旧、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかお知らせします。

■避難指示解除準備区域・居住制限区域への立入り

基本的に自由に立入りができる区域ですが、立入りするためには、「通行許可証」と身分証明書が必要です。

立入りする際は、個人の被ばく線量を把握するため、全員「バッジ式線量計」を着用してください。
※「バッジ式線量計」は、世帯人数や立入り予定などに合わせて事前にお申し込みください。

◇通行許可証について

「通行許可証」は、町内の防犯のための検問を通過するために発行するものです。事前に申請を受け付けますので、申請書に必要事項を記入し申請してください。

「通行許可証」は、車両ごとに発行され、それぞれに乗車する方の名前が記載されます。検問で提示する際に、「通行許可証」に名前がない方は通行できませんので、ご注意ください。

***15歳未満、妊娠している方の立入りはできません。**

避難指示解除準備区域

権現堂、高瀬、幾世橋、北幾世橋、棚塩、請戸、中浜、両竹、西台、藤橋

居住制限区域

川添、牛渡、樋渡、谷津田、田尻、小野田、加倉、苧宿、酒田、立野

■帰還困難区域への立入り

基本的に立入り制限されるため、自由に立ち入りすることはできません。

立入りする場合は、立入り予定日の10日前までに「立入りコールセンター」に申し込みし、許可証の発行を受けるようになります。「立入りコールセンター」から案内が届きますので、そちらでご確認ください。

***立入りは、原則月1回です。**

◇立入り当日の流れ

1 「帰還困難区域立入許可証」、および乗車される方全員の身分証明書を必ず携帯し、予約をしたスクリーニング場で受付をする。

2 備品（線量計、防護服、ネズミ等小動物忌避剤、緊急連絡用のトランシーバー）を受け取り、自宅等へ向かう。

3 立入り終了後、スクリーニング場で必ずスクリーニングを受け、備品を返却する。

※立入り当日に都合がつかなくなった場合は、コールセンターに連絡してください。

***滞在時間は5時間以内とし、16時までに検問を通過してください。**

***15歳未満、妊娠している方の立入りはできません。**

帰還困難区域

井手、小丸、大堀、酒井、末森、室原、津島、南津島、川房、昼曾根、下津島、赤宇木、羽附

【ご注意ください】

◇道路、上下水道等の復旧、放射能の除染は不十分な状態であることをご注意ください。

◇ご自宅の流し台やトイレに水を流さないでください。

◇家庭ごみの取り扱いにご注意ください。

※町内への立入りの際は、「浪江町内への立入りの手引き」をご確認ください。(3月中旬配布予定)

■町民以外の方の立入り

町内に固定資産を所有している方や住宅修繕業者、引っ越し業者等町民以外の方の立入りには、「浪江町臨時通行許可証」が必要です。災害対策課消防防災係で申請してください。

※業者の方は、町民の方が同行しないと許可できない場合があります。

立入り終了後は、スクリーニングを受けてから帰宅してください。

みんなのれんらく帳

問 生活支援課避難生活支援係 ☎0243-62-0305

町では、NTTタウンページ株式会社様の発行協力を得て、希望者の方のみを掲載した「みんなのれんらく帳」を作成しました。

このれんらく帳は、町民の皆さんをつなぐきっかけのひとつとなるよう作成しています。ぜひ、ご活用ください。

- ▷ 発送時期 3月上旬予定
- ▷ 配布先 各避難先世帯
- ▷ 配布部数 1世帯1部
- ▷ 掲載件数 個人3,990件・事業所414件

【注意事項】

- ① れんらく帳には、町民の皆さんの個人情報が掲載されています。複写、譲渡、転売などは行わないよう、取り扱いには十分注意してください。
- ② 紛失、破損等による再配はできませんので、大切にご使用ください。
- ③ 細心の注意を払い、作成しましたが、誤字・脱字・落丁、その他不具合がありましたらご連絡ください。



町内への立入り方法

問 災害対策課消防防災係
☎0243-62-0151

■立入り時間 9時～16時

※防災無線でアナウンスします。

■検問の場所

- ① 国道6号 知命寺交差点（幾世橋）
- ② 国道6号 高瀬交差点（高瀬）
- ③ 国道114号（大字室原・大字加倉境）
- ④ 国道114号（川俣町・浪江町境）
- ⑤ 県道落合浪江線（大字谷津田・大字井手境）
- ⑥ 国道6号（双葉町・浪江町境）

■スクリーニング場

- 南相馬市方面に向かう方
——幾世橋中継所(ヨークベニマル浪江店)……A
- いわき市方面に向かう方
——毛萱・波倉スクリーニング場
(福島第二原子力発電所サイト内)
- 川俣町方面に向かう方
——津島活性化センタースクリーニング場……B

■立入りルート

◇北側ルート（南相馬市側からの立入り）

国道6号→「知命寺交差点検問」・「高瀬交差点検問」・「ヨークベニマル浪江店入口検問」

◇南側ルート（いわき市側からの立入り）

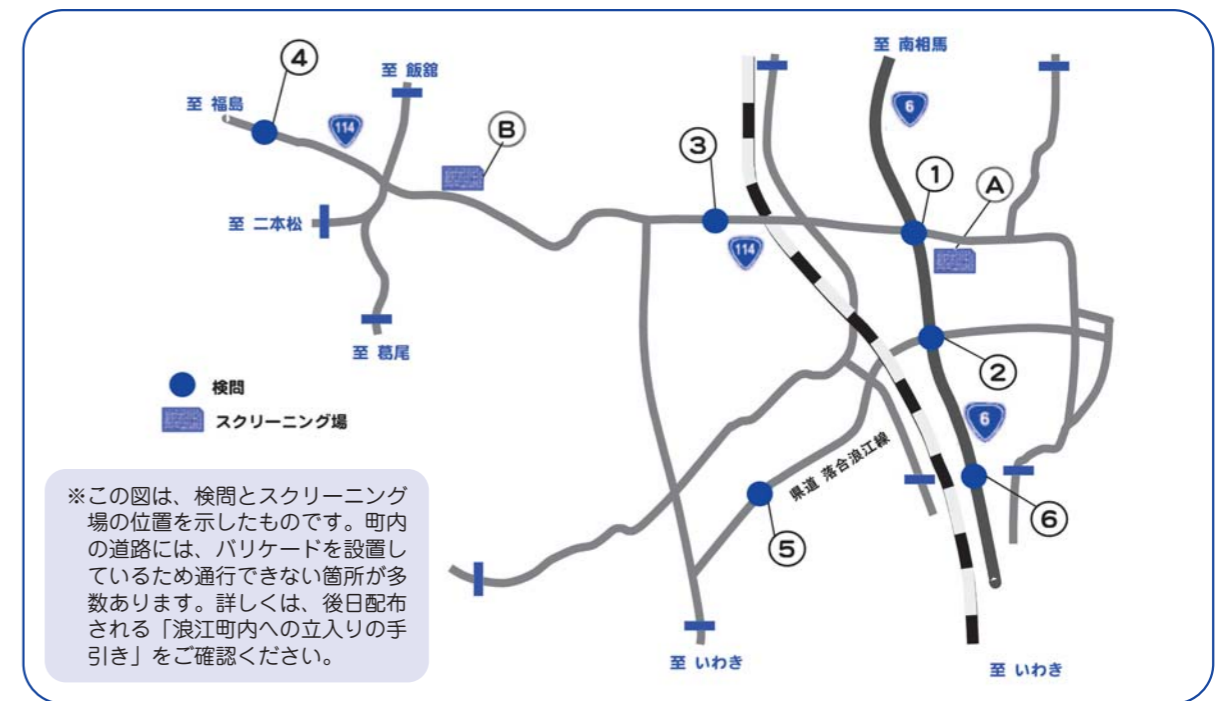
国道6号→「富岡町内検問」→「双葉町・浪江町境検問」→「知命寺交差点検問」・「高瀬交差点検問」・「ヨークベニマル浪江店入口検問」

◇西側ルート（川俣町側からの立入り）

国道114号→「川俣町・浪江町境検問」→「大字室原・大字加倉境」

【ご注意ください】

上記以外の町内への道路上には、防犯のためにバリケードを設置しているため通行できません。



※この図は、検問とスクリーニング場の位置を示したものです。町内の道路には、バリケードを設置しているため通行できない箇所が多数あります。詳しくは、後日配布される「浪江町内への立入りの手引き」をご確認ください。

甲状腺検査の結果

チェルノブイリ原発事故後に明らかになった健康被害として、放射性ヨウ素の内部被ばくによる小児の甲状腺がんがあります。

福島県および浪江町では、東京電力福島第一原発事故を踏まえ、子どもたちの健康を長期に見守るために、甲状腺（超音波）検査を実施しています。

▶対象者
震災時、0歳から18歳までの方

▶実施方法
ゼリーをつけた器械を首に当て甲状腺を検査します。（超音波検査）

▶検査結果

検査機関	福島県	浪江町
検査人数	2,922名	923名
検査結果	A1	594名
	A2	322名
	B	7名
	C	0名
備考	23年度実施分	1月末現在

- A 1 判定：結節や嚢胞を認めなかったもの
- A 2 判定：5.0ミリメートル以下の結節や20.0ミリメートル以下の嚢胞を認めたもの
- B 判定：5.1ミリメートル以上の結節や20.1ミリメートル以上の嚢胞を認めたもの
- C 判定：甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要するもの

* B判定およびC判定の方は、福島県立医科大学で血液検査や尿検査などの二次検査を受診していただきます。

▶今後の検査予定

	H23年度～H25年度	H26年度以降
福島県	1回目	20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに検査
浪江町	県で1回受診した希望者	県の検査予定以外の年で検査を希望する方

甲状腺はその性状や大きさに個人差があるとされています。チェルノブイリ事故の知見から、甲状腺に事故による放射線の影響が出てくるのは4～5年後とされています。そのため、福島県および町で実施している甲状腺検査を継続して受診されるようお願いします。

町では、震災時、19歳以上40歳以下の方を対象に、甲状腺検査を実施しています。ご希望の方は、お申し込みください。

☎健康保険課放射線健康管理係
TEL 0243-62-0173

国民健康保険・後期高齢者医療保険 医療費一部負担金の免除期間 1年延長

医療費一部負担金の免除期間が平成26年2月28日まで延長されました。

新しい免除証明書は、国民健康保険の方は世帯全員分を世帯主の方の避難先へ、後期高齢者医療保険の方はご本人の避難先へそれぞれお送りしましたので、3月1日以降病院等を受診される場合は、保険証と一緒に一部負担金等免除証明書を必ず提示してください。

注1) 国民健康保険の免除証明書
———オレンジ色のカード型
後期高齢者医療保険（75歳以上）の免除証明書
———ピンク色のA4型

注2) 国民健康保険加入者は、4月から電算システムの変更に伴い被保険者番号が変更となるため、免除証明書の有効期限は、「平成25年3月31日まで」となっています。3月下旬にあらためて新しい被保険者番号の入った免除証明書（有効期限が平成26年2月28日までのもの）を新しい保険証と一緒にお送りしますので、ご了承ください。

注3) 社会保険等にご加入の方は、お勤め先かご加入の保険者にお問い合わせください。

注4) 入院時食事療養費の標準負担額や接骨院等を受診した際の療養費一部負担金相当額等の免除は、平成24年2月29日で終了しました。

☎健康保険課国保年金係 TEL 0243-62-0179

介護保険 介護サービス利用者負担金 免除期間1年延長

介護保険サービス利用者負担金の免除期間が平成26年2月28日まで延長されました。

介護サービスご利用の方は、これまで同様、被保険者証をケアマネージャーおよび事業所に提示してください。（免除証明書の発行は、ありません。）

☎健康保険課介護保険係
TEL 0243-62-0172



3月1日から 「届出避難場所証明書」の発行がはじまります

東日本大震災における原子力発電所の事故により、住民票を移さずに避難を余儀なくされている住民の方を対象に、原発避難者特例法に基づく「届出避難場所証明書」を交付します。

「届出避難場所証明書」は、浪江町または避難先市区町村に避難先を届出している方に、届出している避難場所に相違がないことを証明するもので、民間契約等の際に、相手方から避難場所の証明を求められた場合などに使用できます。

■対象となる方
現在、浪江町の住民基本台帳に登録されている方で、浪江町もしくは避難先市区町村に避難場所を届出している方。
また、避難場所の届出をしていない方や避難場所を移動された方は、避難住民届出により避難場所の届出をしてください。

■手数料 無料

■受付場所
二本松事務所1階町民税務課住民係窓口、各出張所窓口
※本人を確認できるもの（運転免許証等顔写真付きの公的証明書、保険証、住基カードなど）をお持ちください。
※福島・本宮・いわき・南相馬出張所では、即日交付可能です。
※桑折出張所では、申請の受付はできませんが、後日郵送での交付となります。

■請求できる方
本人または同一世帯の方。
右記に該当しない方は、別途「委任状」が必要です。

■郵送での申請・交付
①請求内容のわかる書面、②返信用の封筒、③本人確認ができる書類のコピーを送付してください。
ファックス、電子メールでの受付はしていませんのでご了承ください。また、郵送で請求する場合は、日数に余裕を持って請求してください。

【避難住民届出に関すること】
☎総務課行政係
TEL 0243-62-0128

【証明書に関すること】
☎町民税務課住民係
TEL 0243-62-0129

① 請求内容のわかる書面

※任意様式可 便せんなどに…

(請求者の名前) 浪江 太郎
(浪江町の住所) 浪江町幾世橋字六反田7-2
(生年月日) 昭和31年5月1日
(性別) 男

(必要な方の名前) 浪江 太郎
(浪江町の住所) 浪江町幾世橋字六反田7-2
(生年月日) 昭和31年5月1日
(性別) 男
(避難場所) 二本松市北トロミ573
(当該避難場所における滞在開始日) 平成24年10月1日
(必要な部数) 1部
(電話番号) 0243-62-0123
(使用目的) 携帯電話契約のため

② 返信用の封筒

<送付先>
〒964-0984
二本松市北トロミ573番地
浪江町役場 町民税務課住民係

(郵便番号) 960-0984

(住所) 二本松市北トロミ573
(氏名) 浪江 太郎

お急ぎの場合は速達料金を追加してください。

③ 本人確認ができる書類のコピー
本人確認のため、運転免許証等顔写真付きの公的証明書、保険証、住基カード、在留カード等のコピーを同封してください。
* 不当な請求は法律により罰せられる可能性があります。

上水道管被害調査に伴う閉栓作業

上水道の被害調査を実施するため、町内で上水道を使用しているお宅の止水栓とメーターバルブを閉める作業を実施します。作業のため私有地に立入りさせていただく場合がありますので、皆さまのご理解ご協力をお願いします。
※作業員は、身分証明書を携帯しています。
※(株)ナミエ設備、(株)叶屋、(株)小黒設備工業、双葉設備工業(株)の4業者で作業にあたります。

▶作業期間 5月中旬ごろまで

☎復旧事業課上下水道係 TEL 0243-62-4732



除草作業の実施

平成25年度から実施予定の本格的除染の準備として、国（環境省）による農地の除草作業が実施されます。皆さまのご理解ご協力をお願いします。

- ▷ **請負業者** 株式会社泉田組
- ▷ **作業期間** 3月末まで
- ▷ **対象地域** 国道6号とJR常磐線の間の農地
- ▷ **作業方法** ハンドガイド式草刈機または肩掛式草刈機による人力除草を基本に作業します。

※刈った草は、そのままの状態置き、本格除染作業の際に仮置き場に移動します。

問 環境省福島環境再生事務所県北支所
浪江町担当
TEL 024-573-7476（平日8時30分～17時15分）

花き栽培の担い手募集

町では、平成25年度の復興事業の一つとして、浪江町内の新規施設で花き栽培をする方を募集しています。経験のない方も歓迎していますので、意欲のある方をお待ちしています。

- ▷ **業務内容** 胡蝶蘭の栽培
- ▷ **場 所** 浪江町内（避難指示解除準備区域内）
- ▷ **募集人数** 2名程度
- ▷ **そ の 他** 技術習得のため3カ月程度の研修を予定しています。
営農再開に向け支援します。

※応募多数の場合は、町で選考させていただきます。

申・問 産業賠償対策課 大和田・倉本
TEL 0243-62-0267

原子力損害賠償の 時効の考え方

東京電力は、2月4日付けで「原子力損害賠償債権の消滅時効に関する弊社の考え方について」を発表しました。

■ **東京電力による発表内容（一部抜粋）**
弊社事故による損害賠償のご請求について、弊社といたしましては、被害を受けられた方々が時効によって適切な賠償を受けられなくなることは絶対にあってはならないと考えており、時効の援用をあらかじめ放棄できないとされている法的な限界が存在するなか、被害を受けられた方々のご心配を少しでも払拭できるよう、請求書やダイレクトメールの送付により時効が中断するという考え方を示しするとともに、被害を受けられた方々に安心してご請求いただくための当社の対応方針について、2月4日に認定いただきました「総合特別事業計画」の改訂版にも明記させていただきました。
※詳しくは、東京電力のホームページをご覧ください。お問い合わせください。

問 東京電力原子力補償相談室
（コールセンター）
TEL 0120-9261404
（受付時間9時～21時）

個人事業者（商工・農業者等） および中小法人の財物賠償に係る賠償金請求

昨年末から個人事業者（商工・農業者等）および中小法人が所有していた償却資産と棚卸資産の損害賠償請求書が送付され、受付が開始されています。

請求書に同封されている「賠償金ご請求の解説」の25頁にも記載されていますが、個人事業者の償却資産は、定額賠償として50万円での賠償請求を選択することができます。（請求書8頁）
定額賠償での請求を行った場合、併せて、「D7 費用の処理を行った少額資産※」（請求書17頁）の請求もすることができるようになっており、少額資産は、帳簿（証明書類）がない方も、定額で10万円の賠償を受けることができます。（帳簿がある場合は帳簿に基づき請求額を計算します）
※費用の処理を行った少額資産とは、購入金額が小さく帳簿等に記載していない道具や工具などのことです。
帳簿（証明書類）は無いが、それらの少額資産があったという方は、中段の「(1) □費用処理を行った少額資産について、賠償の請求を行います」に を入れて請求してください。
その際、下部にある帳簿価格の合計額を記入する必要があります。
不明な点がある場合は、お問い合わせください。

問 東京電力原子力補償相談室
（コールセンター）
TEL 0120-9261404
（受付時間9時～21時）

食品の放射能簡易分析結果

町では、食品中の放射性物質を図る測定器を配備し、さまざまな食品等の安全安心のため放射性物質測定を実施しています。

■ 1月の分析結果

区 分	検体数	検出された検体数	品 名
野 菜	8	0	100 ベクレル/kg 以上
果 実	1	0	
魚	1	0	
山菜、きのこ類	1	0	
米（新米）	1	0	
その他	1	1	にわとこ（葉草）
合 計	13	1	

- 食品衛生法における一般食品基準値
セシウム：100ベクレル/Kg（セシウム134、セシウム137の合算値）
 - 食品衛生法における飲用水基準値
セシウム：10ベクレル/Kg（セシウム134、セシウム137の合算値）
 - 食品衛生法における牛乳の基準値
セシウム：50ベクレル/Kg（セシウム134、セシウム137の合算値）
 - 食品衛生法における乳児用食品の基準値
セシウム：50ベクレル/Kg（セシウム134、セシウム137の合算値）
- ※警戒区域のものは除く。

食品の簡易測定は、随時受付しています。ご希望の方は、お問い合わせください。

申・問 上竹倉庫事務所 **TEL** 0243-23-4774

警戒区域内の 水の汚染状況検査結果

警戒区域内の水の汚染状況検査結果をお知らせします。

区 分	検査月日	採 取 地	検査結果
原 水	1月16日	小野田取水場	不検出
		苧野取水場	不検出
		谷津田取水場	不検出
		大堀取水場	不検出
井 戸 水	1月8日	権 現 堂	不検出
		川 添 室 原	不検出
河川流水	1月8日	やな場付近	不検出
海 水	1月8日	請戸漁港	不検出

問 災害対策課放射線対策係
TEL 0243-62-0152

お詫びと訂正

広報なみえ2月号に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
10頁「なみえのあの店この店」
誤 孝山工房
正 孝山工房（尺八・しの笛）

なみえの

あの店 この店

ふるさとを離れ、ふるさとを思いながら避難先であらたにスタートした企業・店舗の皆さんを応援してください。

※掲載確認がとれた企業・店舗のみ掲載しています。
※各企業・店舗の希望により、掲載内容が異なります。

掲載ご希望の企業・店舗の方は、ご連絡ください

問 復興推進課情報統計係 **TEL** 0243-62-4731

株式会社東和 山田 政明 〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町16-14 TEL 0246-38-9822 FAX 0246-38-9822	有限会社一貴工業 横山 民一 〒975-0062 福島県南相馬市原町区本陣前2-105 ひばり野C-101号室 TEL 080-1826-2480 FAX 0241-22-7778	有限会社アクツ 南相馬事務所 阿久津雅信 〒975-0032 福島県南相馬市原町区桜井町1丁目175-1 星貸家1F TEL 0244-26-6577 FAX 0244-26-6578 E masanobu@akutsu.co.jp
井戸川石材店 井戸川貴一 〒318-0004 茨城県高萩市上手綱1619-3 TEL 080-6053-1669	Trust 1 小野田 正 〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字三斗蒔田2-1 TEL 024-939-0218 FAX 024-939-0218	株フローラ 〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町2丁目30-6 TEL 0244-22-8888 原町フローラ TEL 0244-24-2888 メモリアルホール原町 TEL 0244-22-5909
豊田動物病院 豊田 正 〒964-0915 福島県二本松市金色402-8 TEL 0243-22-3838 FAX 0243-22-3838	込堂ガラス店 込堂 光雄 〒975-0059 福島県南相馬市原町区上太田字陣ヶ崎114-2 TEL 090-4633-6902	大和電線工業株式会社 草野 完一 東京本社 〒123-0873 東京都足立区扇3丁目25番8号 TEL 03-3890-4501 FAX 03-3890-6868 原町工場 〒975-0076 福島県南相馬市原町区信田沢字尼ヶ折88-1 TEL 0244-25-2271 FAX 0244-24-1023
株式会社駒商 駒板 芳彦 〒976-0002 福島県相馬市椎木字北原305-1 TEL 0244-36-4210 FAX 0244-36-4210	山本整体院 山本 泰弘 〒963-0205 福島県郡山市堤1-88堤マンション1-101 TEL 024-952-4503 FAX 024-952-4503	土地家屋調査士・行政書士 畠山勝事務所 畠山 勝 〒976-0022 福島県相馬市尾浜字原31-1 TEL 0244-26-8812 TEL 090-4889-0149 FAX 0244-26-8812
宗教法人仲禅寺 秋葉 宏和 TEL 080-6529-8768	標葉神社 井瀬 信彦 〒960-0241 福島県福島市笹谷片目清水36-4 笹谷仮設D4-4 TEL 090-2793-7297 TEL 024-573-2806 FAX 024-573-2806	株式会社双葉事務器いわき仮事務所 志賀 祐広 〒979-0201 福島県いわき市四倉町字芳ノ沢1-60 K-10棟 TEL 0246-38-8371 FAX 0246-38-8372
稲荷神社 井瀬 信彦 〒960-0241 福島県福島市笹谷片目清水36-4 笹谷仮設D4-4 TEL 090-2793-7297 TEL 024-573-2806 FAX 024-573-2806	株式会社如水 朝田 宗弘 〒960-8252 福島県福島市御山一本木56-9 TEL 090-1493-4254 FAX 024-529-6253	
朝田木材産業株式会社 朝田 宗弘 〒960-8252 福島県福島市御山一本木56-9 TEL 090-1493-4254 FAX 024-529-6253		

学校だより vol.6 津島小学校

校章



旧津島村紋の津島五山で周りを囲み、その中に津島の名松を配して、児童に日本一の名松にあやかってほしいという願いを表しています。津島五山のひとつ天王山（日山）は役場機能を移転している二本松市からも眺めることができます。

今年度の取り組み

●津島のつどい2012 (7月)



昨年に引き続き福島県民の森（大玉村）で実施したつどいには、県内外から150名が集まり、バーベキューをしながら久しぶりの再会を楽しみました。子どもたちはロッジで一晩中語り合いました。今年の夏休みも最初の土・日に津島小・津島中PTA合同で開催します。

●6年生安達太良登山 (9月)



6年生のちょっと早めの卒業記念に安達太良登山を行い、参加者全員が山頂を目指しました。当日は快晴の天気に恵まれ、友情を確かめ合い、親子一緒になって小学校のすてきな思い出をつくることができました。

現在の津島小学校

校舎内は清掃も終え、きれいに片付いています。教室には子どもたちが学校生活を送っていたときのままだに、たくさんの作品が掲示されています。桃源郷には人の姿はありませんが、森では「イカル」がのどかにさえずり、大空には「タカ」が風を切って飛んでいます。

☎ 浪江小中学校事務局内 津島小学校 ☎ 024-567-6770

子どもたちの状況

県内	福島市	15人
	二本松市	11人
	郡山市	7人
	本宮市	3人
	須賀川市	2人
	相馬市	3人
川俣町	1人	
県外	6人	
合計	48人	

津島小学校は全校児童48名の浪江町では最も人数の少ない小学校です。現在は、それぞれの避難先で離ればなれの生活を余儀なくされていますが、津島っ子はいつでもどこでも元気でなかよしです！

●故郷に想いを寄せる同窓会 (10月)



福島大学の主催で同窓会事業を実施しました。津島稲荷神社の宮司さん、郷土芸術保存会長さん、前津島公民館長さんたちから「津島の歴史」「田植え踊り」「三匹獅子」のお話を聞き、自分たちで花御輿をつくってふるさとのお祭りを再現しました。

●スキー教室 (12月)



記録的な大雪の日に裏磐梯へ行きました。吹雪でスキーは早めに切り上げましたが、卒業生も参加してケーキを作って食べたり、夕食後にゲームをしたりしてクリスマス気分も味わいました。2日目の朝は一面の銀世界にみんな大はしゃぎでした。

3月の休館日

4日(月) 11日(月) 17日(日) 18日(月) 20日(祝)
25日(月)

浪江in福島ライブラリー きぼろ
(仮設浪江図書館)

TEL・FAX 024-573-4295

◆貸出冊数 1人5冊まで

◆利用時間 10時～16時

※福島市笹谷仮設住宅近くの木造の建物です。
お気軽にご利用ください。



読んでみませんか



「花有情」
青山俊董/著
春秋社 2010

水仙・まんさく・ロウ梅・福寿草・梅—浪江の家々の庭先を思い出すような、優しい花々と曹洞宗の尼僧でもある著者の花たちとともに生きるエッセイ。

絵本
「かぶと三十郎 きみのために生きるの巻」



宮西達也/作・絵
教育画劇 2008

しまのかっぱにさんどがさ、カブトムシのおさむらいが、あるもりにふらりとやってきました。わるものをまえにかぶと虫さむらいが、愛の刀をふるいます。

「シゼンのチカラ」

片桐功敦/著
京阪神エルマガジン社 2011

花道みささぎ流家元の著者が大阪のあちこちを歩いて出逢った草花を使い作品を制作。路傍の草花の言葉に耳を澄まし美しさを見出したエッセイ。

あつ かい “集まっ会”

今月も二本松市で町民同士の交流の場を開放します。浪江町民であれば県内、県外、借上げ住宅、仮設住宅に関係なくどなたでも参加できます。

皆さまのご参加をお待ちしています。
※事前申し込みが必要です。

- 日時 3月21日(木)
13時30分～15時30分
- 会場 二本松市市民交流センター
1階 多目的室
(JR二本松駅から徒歩5分)

申・問 NPO法人まちづくりNPO新町なみえ
☎ 080-2800-1634 ※対応時間 9時～16時

- ▷内容
13時40分～14時40分
涼風・門馬よしひこ(請戸出身)さん、七宮史浩(福島市出身)さんのミニライブコンサート
14時40分～15時30分
フリータイム(皆さんでおしゃべりをお楽しみください。)
- ▷参加費 無料
- ▷申し込み先 NPO法人まちづくりNPO新町なみえ
☎ 080-2800-1634
- ▷申し込み期限 3月19日(火)
- ▷駐車場
会場駐車場には、限りがありますので、車の相乗りや公共交通機関のご利用をお願いします。
- ▷実施団体 NPO法人まちづくりNPO新町なみえ
※この事業は、町から委託を受けて実施しています。

問合せ
申込み
電話
ファックス
メールアドレス
ホームページアドレス
フリーダイヤル

相馬方面自治会主催『復興祭』

相馬市大野台第8応急仮設住宅自治会と借上住宅自治会の「なみえ相双会」の主催による『復興祭』を開催します。

当日は、町長との懇談会をはじめ各イベントなどを催し、仮設・借上等避難住宅の関係の無い交流会を行います。また、軽食屋台等も考えています。

相馬市周辺にお住まいの方をはじめ、当日来場可能な方であれば県内県外・住宅の種類は問いませんので、皆さまの参加をお待ちしています。

▷日時 3月30日(土) 10時～14時
▷場所 相馬市大野台第8応急仮設住宅集会所周辺

問 相馬市大野台第8応急仮設住宅自治会長 小松康二
Tel 090-8782-8519

寄贈品桜の盆栽配布

今年度も山梨県の「NPO法人 悠久の里」様から桜の盆栽100鉢をいただきました。昨年度いただいたいなかた方で、大切に育てていただけた方へ配布したいと思えます。申し込み条件を満たす方で、ご希望の方は、お申し込みください。15センチから20センチ程度の鉢に1本の桜です。

- ▽受付期間 3月12日(火)～14日(木) (数になり次第終了です。)
- ▽受付時間 9時～16時
- ▽受付専用ダイヤル 080-5737-2031
- ※つながりにくい場合がありますが、専用ダイヤル以外での受付はできません。あらかじめご了承ください。
- ▽受渡し期間(予定) 3月26日(火)～28日(木) (桜の状態により変更あり。)
- ▽受渡し場所(予定) 浪江町役場二本松事務所 ※受け渡し方法は、申し込み時にご案内します。
- ▽配布場所 生活支援課 生活支援係 (1人1鉢、申し込み順に配布します。)

平成24年度 下半期保育料助成

町では避難先の保育所等にお子さんを入所させている保護者の経済的負担軽減を目的として、平成24年度の保育料の助成を行います。

- 助成対象者 次の要件をすべて満たす方
・災害により被災し、現在浪江町に住居登録がある方で、避難先で十分な保育ができないため、認可保育所またはそれに類すると認められる認可外保育施設(託児所等)に通い、常時保育を受けている児童の保護者
- 対象となる保育料 現在保育料を支払っている方 保護者が納付した基本月額保育料(延長保育料、一時保育料、食費等を除く)平成24年10月から平成25年3月分まで。
- ▽提出書類
・東日本大震災に伴う保育料助成申請書
・保育料の領収書(原本)
・通園証明書
・雇用証明書(認可外保育施設に通園している場合)
※申請様式はホームページからダウンロードできるほか、郵送もします。
- ※就労以外で十分な保育ができない場合には、現在の状況を確認できる証明書を提出していただくようになりますので、ご相談ください。
- ▽提出期限 4月19日(金) 福祉子ども課子育て支援係 0243-62-0170

育料(延長保育料、一時保育料、食費等を除く)平成24年10月から平成25年3月分まで。

- ▽提出書類
・東日本大震災に伴う保育料助成申請書
・保育料の領収書(原本)
・通園証明書
・雇用証明書(認可外保育施設に通園している場合)
※申請様式はホームページからダウンロードできるほか、郵送もします。
- ※就労以外で十分な保育ができない場合には、現在の状況を確認できる証明書を提出していただくようになりますので、ご相談ください。
- ▽提出期限 4月19日(金) 福祉子ども課子育て支援係 0243-62-0170

仮設津島診療所のお医者さん

問 仮設津島診療所 Tel 0243-24-1431

診療時間	午前：8時30分～12時 午後：13時30分～16時
3月1日(金)	関根・玉井・手塚
4日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
5日(火)	関根・佐藤・手塚
6日(水)	関根・西・手塚
7日(木)	関根・佐川(午後)・手塚
8日(金)	関根・玉井・手塚
11日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
12日(火)	関根・佐藤・手塚
13日(水)	関根・西・手塚
14日(木)	関根・今村・手塚
15日(金)	関根・玉井・手塚
18日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
19日(火)	関根・佐藤・手塚
21日(木)	関根・佐川(午後)・手塚
22日(金)	関根・玉井・手塚
25日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
26日(火)	関根・佐藤・手塚
27日(水)	関根・西・手塚
28日(木)	関根・今村・手塚
29日(金)	関根・玉井・手塚

(都合により変更あり)

自動車の抹消手続きはお済みですか

東日本大震災により被災し、滅失した自動車や警戒区域内等にあり持ち出しが困難な自動車は、永久抹消登録することで、税金の還付や免税などのさまざまな措置を受けることができます。

- 被災した自動車として永久抹消登録した場合
・自動車重量税の特例還付が受けられる場合があります。
- 東日本大震災により被災し、滅失した自動車や警戒区域内等にあり持ち出しが困難な自動車は、永久抹消登録することで、税金の還付や免税などのさまざまな措置を受けることができます。
- なお、軽自動車税は毎年4月1日現在所有の場合課税されま。抹消や変更をしていない方は、3月中に手続きをお願いいたします。(軽自動車税は、月割の還付はありません。)

ひな飾り無料配布

公益社団法人東京青年会議所からひな飾りの寄贈がありました。ご希望の方は、お申し込みください。

- ▽寄贈数 30セット (2人平飾り、5人3段飾り、10人3段飾り)
- ▽申し込み期間 3月11日(月)～29日(金) ※数になり次第終了となります。
- ▽申し込み方法 電話にてお申し込みください。電話にてお申し込みください。
- ▽配布場所 生活支援課 ※3月29日(金)までに受け取りに来てください。(土日祝日除く。)
- ▽申請 生活支援課 生活支援係 0243-62-0305

墓地の除草作業

町内のお墓参りがスムーズにできるよう、町内の墓地の除草作業を順次実施します。刈り取った草は、袋に詰めて、墓地の隅に一時的に保管し、仮置き場が決まり次第移動します。皆さまのご理解ご協力をお願いします。

- ▽実施期間 3月から順次実施
- ▽除草範囲 墓地の入口、駐車場、墓地周辺
- ▽災害対策課生活環境係 0243-62-0151

●自動車税、軽自動車税が非課税になります。
●被災した自動車の代わりに自動車取得した場合は、自動車税の救済措置を受けられる場合があります。
●合がいくつかの要件がありますので、詳細はお問い合わせください。

内容	問い合わせ先
軽四輪、軽二輪(排気量125cc超 250cc以下)の抹消手続き……軽自動車の自動車重量税	軽自動車検査協会いわき支所 Tel 0246-44-4660
原動機付自転車(排気量125cc以下)、小型特殊自動車、農耕作業用自動車の抹消手続き……軽自動車税	町民税務課課税係 Tel 0243-62-4735
二輪の小型自動車(排気量250cc以上)、普通自動車の抹消手続き……普通自動車税の自動車重量税	いわき自動車検査登録事務所 Tel 050-5540-2016
自動車税(普通自動車)……自動車取得税	相双地方振興局県税課 Tel 0244-26-1127
警戒区域内等に置いてある被災車両を賠償請求する場合	東京電力福島原子力補償相談室 Tel 0120-926-404

平成25年度狂犬病予防注射集注射

平成25年度の狂犬病予防集注射は、仮設住宅と浪江町役場二本松事務所前で5月下旬に実施します。

- また、浪江町の登録犬も双葉町、大熊町、富岡町、榎葉町の仮設住宅での集注射を受けることができます。(※ただし、注射を受けるのみです。)
- 詳しい日程や場所は、決まり次第お知らせします。
- ▽災害対策課生活環境係 0243-62-0151

狂犬病予防注射済票 交付手数料の免除

平成25年度の狂犬病予防注射済票交付手数料(550円)が、免除されます。本年4月以降に狂犬病予防注射を受けたら、注射済票を発行しますので、注射証明を災害対策課生活環境係までお持ちいただくか、郵送ください。(ただし、町に登録されている犬に限ります。登録する場合は、登録手数料3,000円が必要です。)

有料広告募集

広報なみえでは、5月号から有料広告の掲載を再開します。全国に避難している町民の皆さんへ発送している広報紙は、皆さんの目に触れる機会が多く、高い宣伝効果が期待できると思われま。

- 募集期間 3月4日(月)～29日(金) ※締め切り後も枠に空きがある場合は、随時受け付けます。
- 掲載場所 各ページ(表紙除く)の下段(1色刷り) 最終ページ(4色刷り)
- 申し込み方法 申請書に必要書類を添えてお申し込みください。 ※申請書が必要な方は、郵送いたしますのでご連絡ください。また、町ホームページからもダウンロードできます。

問 復興推進課情報統計係
Tel 0243-62-4731

- 広告の大きさ 1枚 縦47mm×横88mm ※広報紙1号につき2枚まで(最終ページは4枚まで)掲載できます。

区分	広告掲載料(広報紙1号あたり)	
	1色刷り	4色刷り
●平成23年3月11日において、町内に事務所または営業所を置いていて、東日本大震災後事業を再開したもの。 ●浪江町に住所を有し(東日本大震災以降住所を有さなくなったものを含む。)、東日本大震災後に新たに事業を開始したものおよび復興に寄与する事業を営むもの。	5,000円	10,000円
●上記以外のもの	10,000円	20,000円

※1枚の実寸サイズです。

平成25年度東北地区 国立大学法人等職員 統一採用試験

▽受付期間 4月1日(月)～15日(月)
▽申し込み方法 東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会ホームページ上の受験申込画面からお申し込みください。
▽受験資格 昭和58年4月2日以降に生まれた方
▽試験区分
●事務系：事務、図書
●技術系：電気、機械、土木、建築、化学、物理、電子・情報、資源工学、農学、林学、生物・生命科学
▽第1次試験日 5月19日(日)
●試験内容 教養試験
●試験方法 (多肢選択による筆記試験)
●試験地 弘前市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市のいずれかを選択してください。
▽第1次試験合格者発表 6月18日(火)
▽第2次試験 7月1日(月)から開始
※採用試験の詳細は、東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会ホームページをご確認ください。

国家公務員採用試験

人事院では、国家公務員採用総合職試験(院卒者試験・大卒程度試験)および一般職試験(大卒程度試験)を実施します。申し込みはインターネットで行ってください。
▽総合職試験(院卒者試験・大卒程度試験) 4月1日(月)9時～8日(月)15時 ※受付有効
▽インターネット申し込み受付期間 4月9日(火)9時～18日(木)18時 ※受付有効
※インターネットによる申し込みができない環境にある場合は、3月21日(木)から4月8日(月)まで(土日祝日を除く9時～17時)に、お問い合わせください。
▽第1次試験 4月28日(日) 10時30分～15時30分
▽一般職試験(大卒程度試験) 3月12日(火) 10時30分～15時30分
▽インターネット申し込み受付期間 4月9日(火)9時～18日(木)18時 ※受付有効
※インターネットによる申し込みができない環境にある場合は、3月21日(木)から4月8日(月)まで(土日祝日を除く9時～17時)に、お問い合わせください。
▽第1次試験 6月16日(日) 10時30分～15時30分

就職相談会

ふくしま就職応援センターによる就職相談会が三春町と本宮市で開催されます。
▽対象者 県内事業所に就職を希望する方や原発事故の影響により避難を余儀なくされている方
▽内容 就職相談、職業紹介、応募書類作成補助等
▽三春町開催 3月12日(火) 10時30分～15時30分
▽日時 3月21日(木) 10時30分～15時30分
▽場所 三春町役場3階会議室
▽本宮市開催 3月21日(木) 10時30分～15時30分
▽場所 本宮市中央公民館第2研修室
▽お問い合わせ 山窓口 024-925-0811

避難状況 (1月31日現在)

都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	73	滋賀県	2
青森県	58	京都府	39
岩手県	32	大阪府	61
宮城県	566	兵庫県	22
秋田県	81	奈良県	5
山形県	247	和歌山県	0
福島県	14,581	鳥取県	1
茨城県	839	島根県	10
栃木県	416	岡山県	16
群馬県	219	広島県	15
埼玉県	777	山口県	1
千葉県	591	徳島県	1
東京都	966	香川県	2
神奈川県	512	愛媛県	14
新潟県	569	高知県	7
富山県	19	福岡県	21
石川県	41	佐賀県	5
福井県	12	長崎県	11
山梨県	70	熊本県	3
長野県	58	大分県	4
岐阜県	21	宮崎県	7
静岡県	83	鹿児島県	7
愛知県	35	沖縄県	32
三重県	6	国外	12

さあ～あつまろう！元気がでるよ！！ 東日本大震災 復興支援コンサートへご招待

東京多摩ロータリークラブ様から東日本大震災復興支援コンサート「ほほえみをあなたに」へご招待いただきました。
元うたのお姉さん高山佳子さんとその仲間たちによる、心癒すなつかしく温かい歌で、ともにほほえみ、ともに歌いませんか。
▷日時 3月31日(日) 開場 12時30分 開演 13時
会場 二本松市安達文化ホール(二本松市油井字市濡石1-2)
▷入場料 無料 ※全席自由
▷出演 ●歌と指揮 高山佳子さん
●歌 田中美佳さん
●ピアノ伴奏 堀川法子さん
●合唱 多摩童謡友の会合唱団と多摩ファミリーシンガーズの皆さん
▷主なプログラム
♪故郷、我は海の子、早春賦、月の沙漠、虹の彼方に、荒城の月、波浮の港、トルコマーチ、コキリコのうた、ほんとの空 ほか
▷主催 東京多摩ロータリークラブ 二本松あだたらロータリークラブ
▽お問い合わせ 二本松あだたらロータリークラブ事務局 TEL0243-23-3211

わたしたちのまち

(平成25年1月末現在)

人口	19,774人	転入	14人
男	9,671人	転出	22人
女	10,103人	出生	16人
世帯数	7,326戸	死亡	17人

※転入は、震災後転出した方の再転入のみ。
※人口は、外国人を含みます。

※この欄には、連絡がとれた方のみ掲載しています。
住民票を町外に異動された方で、掲載希望の方はご連絡ください。
復興推進課情報統計係 TEL0243-62-4731

お誕生

出生届は14日以内に(1月)

こどもの名(性別)	親の名	住所
佐藤 恒太(男)	裕一郎・友美	幾世橋
林 竜聖(男)	広勝・素子	川添
原田 真之介(男)	功二・葉子	権現堂
大河原 朔(男)	聡・ひな子	室原
永田 裕夢(男)	直大・弘美	幾世橋
井戸川 仁胡(女)	周作・洋子	権現堂
井戸川 笑弓(女)	周作・洋子	権現堂
佐藤 友成(男)	広文・裕美	立野

お悔み

死亡届は7日以内に(1月)

死亡者名	年齢	住所
吉田 正見	88歳	権現堂
熊川 ツミ	82歳	請戸
松本 ツマ子	78歳	川添
佐藤 午治	82歳	津島
渡部 泰明	74歳	酒田
佐藤 重信	66歳	樋渡
伊東 美枝子	69歳	権現堂
木村 重信	77歳	北幾世橋
佐藤 アイ子	82歳	酒田
三田 ツヤ	87歳	権現堂
五田 衛男	89歳	田尻
蒔田 キミ	84歳	立野
松本 マツイ	96歳	権現堂
吉田 ヤイ	93歳	井手
神保 守男	66歳	田尻
根岸 久子	82歳	北幾世橋
横山 秀	77歳	榎

浪江町への義援金

2月7日現在、1,192件3億8,080万7,336円の義援金が寄せられています。
このうち、3億5,274万7千円が町民の皆さまへ配分されています。
皆さまの温かいご支援、ありがとうございます。

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所では、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しています。
放射線物質に関する情報、農産物・土壌モニタリング結果など、わかりやすく説明します。お気軽にお越しください。
▽日時 3月15日(金) 10時～15時
▽場所 浪江町役場二本松事務所 双葉農業普及所
▽お問い合わせ 双葉農業普及所
*ブログ「ふたばの農業通信」
URL http://blog.goo.ne.jp/fu tabafukyu

つながるこころ

なみえ相双会からののお知らせ
なみえ相双会は、南相馬市近隣に避難されている方々で集まり、おしゃべりや健康体操・折り紙などをして交流している会です。お気軽にご参加ください。
■開催日程
●第1・3土曜日 10時～12時 原町区福祉会館視聴覚室
●第1・2・3土曜日 14時～16時 珈琲亭いこい(原ノ町駅前セブンイレブン向かい)
▽お問い合わせ 根岸淑子 TEL090-6781-6003

大切な郵便物を受け取るために

旧住所(浪江町)あての郵便物の転送は、郵便局へ転居届を出してから1年間です。継続して転送を希望する方や避難先住所が変更になった方は、お近くの郵便局の窓口で転送届を出しましょう。
なお、浪江町内に住所がある方で、郵便局に「お客様確認シート(避難先届)」を提出している方は、引き続き郵便物が転送されます。
▽お問い合わせ 郵便事業株式会社浪江支店 TEL080-6026-9724

浪江消防署からのお知らせ

3月1日～7日
春の全国火災予防運動
春先は空気が乾燥し、強い風が吹く日が多くなるなど、火災が発生しやすい季節となります。
火災を発生させないために、日ごろから火災予防を心がけましょう。
◆習慣◆
●寝タバコは、絶対にやめましょう。
●暖房器具は、燃えやすいものから離れた位置で使用しましょう。
●ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう。
◆対策◆
●寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用しましょう。
●家の周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。
●お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくりましょう。
▽お問い合わせ 浪江消防署、富岡消防署川内出張所 TEL0240-38-2119

浪江の こころ通信



・第21号・

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられました。東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のこころ通信」が編集・発行されます。

浪江のこころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のこころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこだわりを発信・共有しようとするものです。

※東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会は、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

「浪江のこころ通信/第21号」への
感想をお寄せください。

【連絡先】〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
「浪江のこころ通信」宛
FAX.0243-22-4218



ぼくらの未来

2月7日、浪江小学校でふるさとなみえ科のまとめとして、「未来のふるさとなみえを考えよう」発表会が行われました。

同校では、「ふるさとなみえ科」をつくり、浪江町の歴史、産業などを学び、浪江町の未来を子どもたちで考える学習を進めてきました。1年生から6年生まで全員で学習に取り組み、公共施設・福祉・復旧復興・産業・商業・娯楽施設の6グループに分かれ、自分たちの意見を発表し、「目立って誰もが頼りにできる『にじいろ警察署』の建設」や「買い物や病院に行くときに便利なお手伝いカーの運行」など、子どもたちの発想豊かなアイデアが出されました。

がんばれ!

なみえ

まちの話題

皆さまの身の回りにある楽しい話題、変わった話題などの情報を募集しています。

TEL 0243-62-4731

復興願い、安波祭

2月17日、福島市と二本松市の仮設住宅で、安波祭が開催されました。

これは、2月の第3日曜日の安波祭の日に合わせて開催されたもので、鎮魂と復興を願い神楽と田植踊りを奉納しました。

各仮設住宅には、多くの町民が集まり、ふるさとに思いを馳せました。



北幹線第一仮設住宅



安達運動場仮設住宅

賀寿の祝い

遠山シン子さん(立野)が、1月25日で満100歳を迎えられ、29日にご家族へ賀寿(賞状)と町からの祝い金、県から会津漆器の木杯が手渡されました。

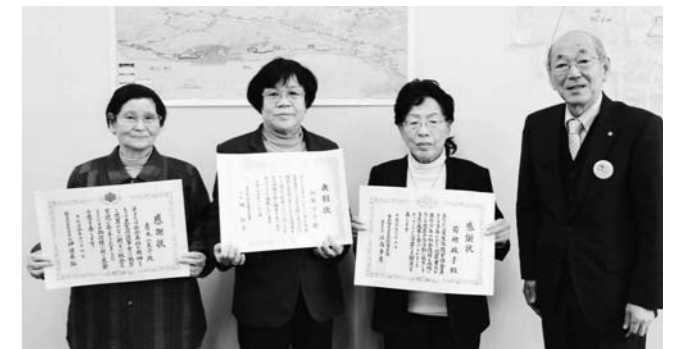


長寿の秘訣は、好き嫌いなく食べることで、ストレスをためないことといいます。現在シン子さんは、神奈川県で元気に過ごされています。



おめでとうございます

浪江町保護司の菊地政子さん(藤橋)が東北地方更生保護委員会委員長感謝状を、加藤洋子さん(請戸)が東北地方更生保護女性連盟会長表彰、青木二美子さん(加倉)が福島保護観察所長感謝状を受賞され、受賞報告に役場二本松事務所を訪れました。菊地さんは、「このたびの受賞を励みに、さらに精進します。」とお話してくださいました。





佐々木三千夫さん・由美子さん(西台)

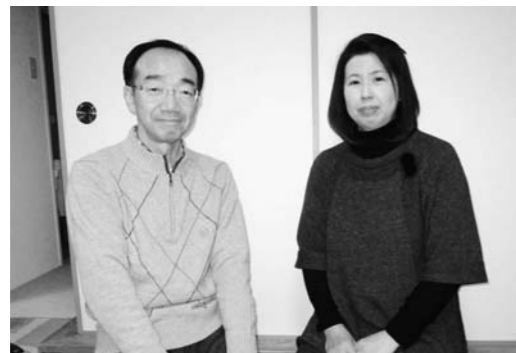
取材者：きょうとNPOセンター 田口
取材日：2月11日

諦めきれない思いを胸に抱いて・・・

佐々木さんご夫婦は、息子の和幸さんが大学生活を送られている京都に、娘の美紗さんと一緒に避難されています。父の幸夫さんは、少しでも浪江に近い所に居たいということで、いわき市のアパートに住んでいます。この春、美紗さんが高校卒業と大学入学を迎えるのを期に、三千夫さんの仕事に合わせて、郡山市での生活をスタートされます。

間もなく福島県に帰ります。震災の後、2年近く生活をした京都から、「原田時計店」を再開させるため郡山市に移る決断をしました。震災当時は、兄と一緒にやっていたお店の再開の目処もたらず、また娘の学校の心配もあり、家族が近くにいられたらとの思いで泣く泣く福島を後に京都へ移りました。特に、家内は京都での最初の1年は辛かったです。なぜ、私たち福島の人だけがこのような目に遭うのだろうか、塞ぎ込む日々が続きました。同じ日本であっても、こちらは地震もなく東日本大震災はまるで外国の出来事のように、何もなかったかのように日々が流れていききました。けれど、その後被災されている人たちとの出会いや同郷の仲間との再開に恵まれ、本音で語り合えるようになったことが救いになったようです。

私も、こちらの職場の方々に良くしていただき気持ちがとても落ち着きました。間もなく、娘がこの多感な時期に、友だちとの別れもできずに原町高校から一人こちらの高校に転校しながらも、慣れない土地で一生懸命高校生活を送る姿に私たちは支えられました。生まれ育った浪江で、人生を終えていく。それがあたりまえのことだと思っていました。浪江を離れてみて感じたことは、気候は良いし食べ物も美味しい、そんな浪江で普通に暮らしていたこと。人と人とのつながりの中であたりまえのように暮らしていたこと。それが一番ありがたいことだったんだということ。浪江は私たちのいるべきところ。浪江に代わる場所はどこにもありません。かと言って、元の浪江に戻るのは難しいことだと思っています。けれどやっぱり諦めきれません。この先、心の底から笑える日が来るのだろうか、つくづく思います。そんな気持ちを抱えながら、郡山市での生活は、離れていわき市に住んでいる父と私たち夫



▲左から、三千夫さん、由美子さん

婦の3人で、一からのスタートです。懐かしい人との再会や新しい出会いを楽しみに、その人たちのつながりの中で、私たちの普通の暮らしを築いていきたいと思えます。



岡田 有一さん・貞子さん(大堀)

取材者：NPO法人山形の公益活動を応援する会・アミル 柴田
取材日：2月8日

仲間と一緒に飲みながら また浪江の未来や夢を語りたい

岡田さんご夫妻は、現在山形市の借り上げ住宅で生活しています。震災から数カ月間、場所を移動することばかりで先が見えない状態でしたが、今は娘さんご家族、息子さんも近くに住んでおり、山形でやっとほっとして暮らしているそうです。



▲左から貞子さんと有一さん。借り上げ住宅で。お孫さんが遊びに来ると、座布団を滑り台にしたり、押し入れのものを全部出したりと、とてもにぎやかになるそうです。

■有一さんのお話
震災時、出張で東京の高層ビルの中におり、ビル同士がぶつかるかと思うほどの揺れを経験しました。家族と連絡がとれず、逃げた場所、放射能の風向きが不安でしたが、車を乗り継いでやっと福島県に戻り、原町で家族と無事会うことができました。その後、国見の友人宅に家族10何人で身を寄せました。その方は、ガゾリンを持って迎えに来てくれ本当にありがたかったです。私たちは一昨年7月から山形に暮らしており、今では

近所の方とも気兼ねなく話をしています。地域に対して夢や希望を持ち、目標があればいくつになっても”地域のためになんとか頑張ろう”となると思うのですが、いつ帰れるかわからない状態で、継ぐかわからない状態で、絆だけではなんともならなくなってきたように感じています。こればかりはなんともしようがない問題です。浪江の未来や希望が形になり、全員で一生懸命になれる何か旗印を掲げていくことも大切かと思っています。高校の同級生6人で思いを綴るノートを40年以上交換し合っており、今も毎月行き来しています。切磋琢磨し合ってきた本当の友だちです。けんかもしますが、やはり顔を見ないでいられません。またバカになれる仲間とわいわいお酒を飲みながら、夢や未来について本気で語り合いたいですね。

■貞子さんのお話
地震による自宅の損傷はありませんでした。娘からみんな津島に避難するらしいと聞き家を出ました。夫と息子が出張でおらず、私たちだけでなんとかしなければという思いでした。浪江の自宅縁側から見える風景を思い出します。大高倉が見え絵に描いたような風景でした。私たちの住む大堀地区は行事や会合など集まることが多い地区で、みんなが地域のために本気で話し合い暮らしていました。忙しかったけど楽しかったですね。突然やるのがなくなってしまうことが辛いです。そういう状況なので精神的に苦しい方が多いと思います。この間大堀地区の婦人会が集まり、「このままだったらばらばらになっちゃってしまう。一人でいる間も何かやっていこう。」と話になり、それぞれが小物を製作し会合のとき皆さんに渡すつもりです。「大堀の婦人会元気ですよ！」ということを伝えられたらと思っています。



飛田 実さん・エチ子さん(下津島)

取材者：茨城NPOセンター・ commons 小原
取材日：2月12日

根は茨城で、心は福島で



▲とても気に入っている今のご自宅をバックに

60歳で退職してから浪江町で果樹園を営んでいた飛田実さん。今は妻エチ子さんと茨城県城里町で静かに暮らしています。

■思い出深い果樹園のこと
経営していた建設関係の会社を60歳のときに後継者に譲って、それから十数年、りんごや梨、桃の果樹栽培をしていました。農業高校の出身なので、ずっとやってみたいと思っていたんです。最初は商売でやる気はなくて、出荷もしていませんでした。たくさん実がなるようになってくると、保育所や高校の子どもたちがりんご狩りや摘果作業で来てくれて、浪江の広報でも取り上げられました。先生の「写真を撮るから」という制止も聞きやしないで、小さな子どもたちがりんご1つを丸かじりでペロ

りと食べてしまう姿をいつも思い出します。高校生のときに1度来た青年が、就職してから里帰りのときにわざわざうちの果樹園に来てくれたりもしました。浪江では、そうした触れ合いを生きがいに、年中働き通しで楽しく過ごしていました。今はそれがピタッと止まったのが悲しいですよ。おとしはストレスで身体も動かなくなっていました。ずっと身体を動かしていた人が動かなくなると、そんなこともあるみたいですね。針灸の先生にお世話になって今は大分良くなりましたけどね。

■避難の中で人の温かみを感じる
会津など3回の移住を経て、昨年の4月までは名古屋にいたんですが、孫の学校のこともあって福島に近い茨城に越してきました。しばらくは水戸にいました。周りは若い人ばかり。昼間はいいので交流もなかったり、騒々しかったり、城里に引っ越ししました。これで震災以降住居を変えたのは6回目になりました。今の自宅の周りには家が10軒あって、私たちと同じように高齢者ばかりなので交流がありますよ。孤独が一番辛いですから、人との交流が一番大事です。物やお金ではないと感じます。浪江の友だちと電話で話すのもいつも楽しみにしてる

んです。

名古屋は福島とはずいぶん環境が違ったし、都会だったので、田舎育ちには合わなかったけど、地元の人たちに本当に良くしてもらいました。向こうの支援団体が心配して手を差し伸べてくれたのが嬉しかった。交流会も企画してくれて地元の人々が手作りしているんなものを作ってくれた。子どもも、心配して電話してくれたり、親のことを考えていないようでも考えてるんですね。避難の中で、人の温かみを感じています。失ったものも多いけど、そればかりじゃなくなって。

■根は茨城、心は福島
再処理工場や使用済み核燃料の行方が決まらない。そして、福島原発事故だって完全に収束したとは言えない中で、やはり原発は再稼働させないでほしいと思います。原発の事故で私たちが避難生活をしているわけですから。

当然帰れるなら帰りたいという思いがあって、よく元の家の写真を眺めています。今の家もとても気に入っています。庭が広いので手入れしていくのが楽しみです。65年も浪江にいたから、やっぱり忘れられないし、ふるさとの人に会いたいです。根は茨城で、心は福島でやっついていこうと思っています。



苅野陸上クラブ・浪江町陸上クラブ 監督 佐藤 博文さん(苅宿)

取材者：浪江町役場 鳴原・小峰
取材日：2月6日

一緒にふくしま駅伝を走りませんか

二本松で奥さまと避難生活をされている佐藤さんは、苅野陸上クラブで20年近く指導をなさっていて、ふくしま駅伝では浪江町の監督を務められています。浪江町のチームとして、今後も入賞をめざし継続して参加していきたいと話されます。



▲浪江町駅伝チームの皆さん。一緒に走りたいたいの連絡お待ちしています。

連絡先 浪江町教育委員会生涯学習係 ☎0243-62-0304
◇浪江町陸上クラブ <http://kaririku.web.fc2.com/ekiden.html>
◇苅野陸上クラブ <http://kaririku.web.fc2.com/>

震災当日、余震による被害を心配して、家族8人でハウスに避難していたところ、自衛隊が原発に向かっていくことをラジオで知り、原発が危ないと判断して、夜中の内に姉夫婦が住む原町経由で本宮の親戚宅に行きました。翌日、水蒸気爆発のニュースを聞き、親戚も一緒に20人程でいところを頼って東京まで避難しました。それから、2週間ほどお世話になりましたが、仕事

の関係で本宮に戻りましたが、いろいろ考えた末、昨年6月に34年間勤めた職場を退職しました。息子家族と娘たちとは離れて暮らしていますが、妻と両親は同じ二本松にいます。

陸上競技のスポーツ少年団「苅野陸上クラブ」では、基本を大事にする指導を続けてきました。現在もクラブは継続していて、今年も5月から7月まで週1回の練習と夏合宿を予定し、夏に行われる小学生中心の全国大会を目指していきたいと思っています。

一番に力を入れたいのが、ふくしま駅伝で浪江町として走り続ける事です。25年続くふくしま駅伝の1回目から関わってきました。選手がばらばらに避難している今は、選手の情報を把握することが大変で参加自体が困難になってきています。浪江でやってきたこと、ふるさとを薄れさせたくない思いがあるから、避難先の学校で活躍している子どもたちにも、浪江町の選手として走ってほしいと願っています。ふくしま駅伝浪江町を応援する会を、前監督が中

心となって立ち上げ、以前駅伝を走った子どもの親御さんがバックアップしてくれました。大変心強く、つながっていることを感じました。2年連続で入賞していましたが、一昨年は参加できなかった喜びでした。昨年は今年が入賞という目標を持って臨んでいきたいと思っています。

「浪江町陸上クラブ」を春休み立ち上げ目標に動いています。中学生以上を対象に週1回土曜日に活動予定です。トラックを使える練習場所も確保したいと思っています。ホームページも作成しました。ふくしま駅伝と一緒に走りたいたい子は、ぜひ、連絡ください。

16名のメンバーをそろえて私たちの「浪江町」チームとして走りましょう。



伊達 健三さん・サダ子さん(権現堂)

取材者：NPO法人市民公益活動パートナーズ 阿部
取材日：2月12日

長年住み慣れた自分の家がある浪江町に早く帰りたい



▲伊達健三さんとサダ子さん、愛犬さくらちゃんと

震災前はご長男夫婦と一緒に住んでいましたが、現在はご夫婦と愛犬のさくらちゃんと福島市の借り上げ住宅にお住まいで、まもなく1年になります。

■あの日は何がなんだか
あの日は自然薯を握りに近くの山に友だちと出掛けていて、地震に遭いました。揺れがおさまると同時に自宅にいる妻が心配で急いで戻りました。妻は近所の人たちと近くの公園に避難してしまいました。自宅の中は物が散乱し、天井は落ちていました。その晩は一緒に住んでいた長男夫婦と4人で庭にテントを張り過ごしました。
次の朝、請戸に住んでいる親戚がやってきて原発のことを初

めて聞かされ、着の身着のまま車一台で避難することになりました。朝8時ごろだったと思います。道路はあちらこちら陥没がひどく、また避難する人たちの車でものすごい渋滞でした。途中、加倉のコンビニの付近を走っていたとき、時間は定かではありませんが大きな水蒸気爆発の音を聞きました。
午後1時くらいに津島高校へ着きましたが人がいっぱいいて農村広場へ移動し、炊き出しのおにぎりをいただきました。そこでは、白い防護服を着た人たちが手に何かを持って土手を歩いているのが見え、こんな所へはいられないと今度は川俣のリオンドールの駐車場で娘と落ち合い、車の中で一晩を過ごしました。翌日、東和の元小学校へ避難したものの断水で、役場に誘導され二本松の城山総合体育館へ避難し、4日間すごしました。
その後、親戚の友人を頼って山形へ移り3月半ばから2カ月程お世話になりました。
娘家族は茨城に避難していましたが、仕事のため福島に戻る娘の代わりに中学を卒業するまで孫の面倒をみるため夫婦で茨

城へ引っ越しをしました。孫が卒業して、いわきの高校へ入学が決まったのを機に福島へ戻ってきました。
■最近「なじよすんだ」としか言葉が出てきません
浪江は暖かかったなあ！雪は降ってもすぐに溶けてしまうので歩くのにも支障はなかったなあ！定年を迎え、大好きな山歩きや野菜採り、鮎釣りを楽しもうとしていた矢先でしたから本当に悔しい。夜眠れないことも多いですし、寝てもすぐに目が覚めてしまいます。心も落ち着きません。
何度か家に戻りましたが、背より高くなった草をかき分けないと家までたどり着けません。リフォームしたばかりの我が家が朽ちていくのを見るのは辛いです。家の中を片付けようにもやる気がおきません。妻はもう戻りたくないと言いますが、私はやっぱり浪江に帰りたい。
友だちと話をしても「なじよすんだ」としか言葉がでてきません。自分たちではどうにもできません。早く収束することを願うばかりです。



田村とし子さん(小野田)

取材者：とちぎボランティアネットワーク 徳山
取材日：2月8日

私の心に咲いた希望という一輪のひまわり

小野田から栃木県日光市の借上げ住宅に避難している田村とし子さん。

とても明るく元気な女性というのが第一印象です。

長男が住んでいる日光市に腰をすえて、ご主人とご主人のお母さんの3人で暮らしています。



▲私を救った『希望』と一緒に

地震直後、私はその年の前年度まで小野田地区の民生委員をしていましたので、新任の民生委員の方と一人暮らしのお年寄りの安否確認をしました。そのときに見た光景は、土砂崩れで道が寸断されていたり、地割れでできた段差に大型トラックが今にも横転しそうな状態で止まっていたり、お寺の燈籠や鳥居も倒壊していて、この地震の凄まじさを目のあたりにしました。
幸いにも訪問先の人たちの安

否確認も取れ自宅に戻ってみると、我が家もひどい状態になっていました。ガラスは割れ、家の中はありとあらゆるものが散乱していました。その夜は続発する余震に震えながら、真っ暗な中家族全員で過ごしました。
翌日の早朝、避難することになり津島に向かいましたが渋滞のためたどり着くことができず、長男が住んでいる栃木県日光市に避難しました。そのまま4カ月間主人と2人で長男夫婦に世話になり、現在は近くの借上げ住宅を借りて主人と主人の母と3人で暮らしています。
震災前、私は浪江町で七宝焼の仕事をしていました。また、自分の工房を持ち作品を制作しながらたくさんの人たちに七宝焼の指導をしていました。しかし、震災後はそんな気持ちにもなれず落ち込んだ日々が続きました。
そんな私に東京で一緒に七宝焼を習っていた友だちが、がれきの中に咲く一輪のひまわりの花の写真を見つけ、それを七宝焼で描いて送ってくれました。題名は「希望」とつけ、元気を

出してくれとメッセージも付いていました。その七宝焼の絵を見たとき、胸が熱くなり涙があふれてきました。
私はここで何をしているのだろう、みんな前に進んでいるのに、私にもたくさんやれることがあるのにと。そして、浪江の人たちやここでお世話になってる日光市の人たちにも以前のように七宝焼を教えてみたいと思うようになりました。
そんな気持ちが強くなっていくとき、二本松の仮設住宅に避難している友人からまた以前のようにならぬと声をかけられ、二本松の仮設住宅に行きアクセサリー作りの講習をしました。皆さんとても上手に仕上がりが笑顔と喜びを見ることができ、また自分への自信にもつながりました。
今では日光市の公民館から七宝焼の講師の依頼を受け、来年度から2回のペースで始める予定です。恩返しのためにも私にできる限り教えて行きたいと思っています。そして、たくさんの方に恵まれ楽しく前向きに生きて行こうと思います。

連絡先一覧

- 浪江町役場二本松事務所
〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0123 FAX 0243-22-4261
- 二本松連絡所
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目81
TEL 0243-62-0302 FAX 0243-23-7970
- 福島出張所
〒960-8601
福島県福島市五老内町3番1号
(福島市役所9階西側)
TEL 024-535-0750 FAX 024-535-0753
- 本宮出張所
〒969-1203
福島県本宮市白岩字堤崎494番地22
(本宮市役所白沢総合支所1階)
TEL 0243-44-1185・1186
FAX 0243-44-1187
- 桑折出張所
〒969-1611
福島県伊達郡桑折町字東大隅18番地
(桑折町役場2階)
TEL 024-582-2130 FAX 024-582-2135
- いわき出張所
〒970-8026
いわき市平字堂根町1番地の4
(いわき市文化センター2階第4会議室)
TEL 0246-24-0020 FAX 0246-24-0026
- 南相馬出張所
〒975-0039
南相馬市原町区青葉町2-62-2
(旧東北農政局福島農政事務所南相馬統計・情報センター)
TEL 0244-23-1112 FAX 0244-23-1114
- 浪江町議会事務局
〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0196 FAX 0243-22-4231
- 浪江町教育委員会
〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0301 FAX 0243-22-4223
- 浪江町社会福祉協議会
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目81
(浪江町役場二本松第二事務所内)
TEL 0243-62-0877 FAX 0243-23-7970
- 仮設津島診療所
〒969-1404
二本松市油井字長谷堂230番地
TEL 0243-24-1431

町内モニタリングポスト測定結果

文部科学省で町内40箇所に設置したモニタリングポストの測定結果をお知らせします。なお、測定結果情報はホームページで閲覧できます。

* 文部科学省放射線モニタリング情報

URL <http://radioactivity.mext.go.jp/map/ja/>

問 文部科学省
原子力災害対策支援本部
TEL 03-5253-4111

(単位: $\mu\text{Sv/h}$)

測定地点	2/1	2/15	測定地点	2/1	2/15	測定地点	2/1	2/15
津島小学校	3.5	3.8	津島活性化センター	0.6	0.7	小野田集会所	2.2	2.2
津島中学校	1.6	1.7	昼曽根屯所	8.9	12.5	酒井集会所	3.1	3.1
浪江高等学校津島校	5.0	7.1	新町ふれあい広場	0.5	0.5	室原公民館	4.0	4.0
浪江(中央公園付近)	0.8	0.8	川添葉山会館	2.9	3.1	立野中多目的集会所	3.1	3.6
幾世橋(幾世橋小学校付近)	0.3	0.3	樋渡牛渡集会所	3.2	3.2	苅宿公民館	2.6	2.6
浪江ひまわり荘	2.8	2.8	高瀬多目的集会所	0.7	0.6	加倉集会所	2.4	2.5
手七郎集会所	5.1	7.4	幾世橋集会所	0.2	0.2	藤橋消防屯所	0.6	0.7
大柿簡易郵便局	11.6	11.9	浪江町公民館幾世橋分館	0.1	0.1	羽附集会所	0.2	0.3
家老集会所	7.3	7.4	北棚塩総合集会所	0.1	0.1	大字津島集会所	1.1	1.6
赤宇木集会所	5.8	8.0	棚塩集会所	0.1	0.1	南下コミュニティーセンター	2.6	2.7
大堀小学校	3.3	3.3	大字請戸集会所	0.08	0.08	葛久保集会所	4.8	6.7
苅野小学校	4.1	4.0	中上ノ原町宮住宅	2.8	2.9	陶芸の杜おおぼり	13.3	13.3
浪江町役場	0.1	0.1	井手多目的研修センター	5.9	6.3			
小丸多目的集会所	23.5	23.5	田尻集会所	1.3	1.4			



発行・編集 福島県浪江町役場復興推進課

〒964-0984 福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-4731 FAX 0243-22-4218
<http://www.town.namie.fukushima.jp>